



YASKAWA



株主のみなさまへ

## 第88回 事業報告書

平成15年3月21日 ▶ 平成16年3月20日

機械と人間の共生へ—Quality & Beauty  
株式会社 安川電機

# 株主のみなさまへ



平成16年3月21日付で、取締役社長に就任いたしました利島康司でございます。株主のみなさまには、前中山社長同様、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当期の業績について、概要をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、前半は、イラク戦争や新型肺炎（SARS）等の影響で世界情勢が不安定な中、厳しい雇用環境を反映した個人消費の低迷やデフレ傾向の持続等により回復感の乏しい状況で推移いたしました。一方、後半は、円高・ドル安が進行したものの、米国向けなどの輸出の復調や国内民間設備投資の持ち直しにより、景気は回復の動きを強めてまいりました。また、世界経済については、欧州では低迷状態が続きましたが、米国では回復が明確化し、アジアでは堅調に推移してまいりました。

このような経済環境のもと、当社は高収益企業への転換を図るべく、平成17年度を最終年度とする新中期経営計画“Win21プラス”を、今年度からスタートいたしました。

この計画は、前中期経営計画“Win21”で取り組んでまいりました事業、企業、経営、財務という4つの構造改革の成果により、事業の競争力強化および効率的な事業運営を実現し、“Win21”の基本目標の総仕上げをするものであります。

スタートの年となります今年度は、高収益企業への転換のため、基盤となるコストモデルの実現とバランスシート（貸借対照表）改革による強固な財務体質の実現の2点を重点方針として掲げ、諸施策を実行してまいりました。

まず、コストモデル実現のため、既存製品の一層のコストダウンに加え、より付加価値の高い製品やコスト競争力のある新製品の開発・市場投入により、利益率の向上に努めてまいりました。また、中国での現地生産を拡大するなど世界規模での最適地生産体制の構築を進めるとともに、国内では、グループ内

の生産専門会社において、一層の生産性向上を実現いたしました。さらには、全社集中購買や海外調達拡大などによる調達資材・部品コストの削減、あるいは、業務改革による効率化や人員最適化による間接経費の削減などを進めてまいりました。

バランスシート改革については、受注が大きく増加する中で、ERP/SCM（統合業務システム／サプライチェーン・マネジメントシステム）を活かしたきめ細かい棚卸資産の日常管理の徹底や一部の資産の売却、売上債権の回収促進などにより資産の圧縮・効率化を進め、有利子負債の削減に努めました。

当期の業績につきましては、成長市場である半導体・液晶関連市場や自動車関連市場での受注拡大に注力し、上記諸施策の効果も相まって大きな成果をあげることができました。海外では、米国経済が回復してきたこともあり、輸出が好調に推移いたしました。また、今年度から中国戦略室を設置し、急成長する中国市場における拡販も進めてまいりました。

その結果、受注高は前期比32.2%増の1,708億96百万円、売上高も前期比22.9%増の1,555億1百万円と大きく拡大いたしました。

損益面では、価格競争の激化による影響を受けたものの、売上高の増加により、経常利益は前期比18.7%増の45億1百万円、当期純利益は前期比157.0%増の17億23百万円となりました。

なお、以上のような業績結果を踏まえて、配当金につきましては、1株当たり3円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、世界経済が回復する中で、民間設備投資や輸出が引き続き堅調に推移し、低迷が続いていた個人消費や非製造業分野にも明るさが見られるなど、日本経済は総じて回復傾向が続くものと期待されます。しかしながら、円高の一層の進展、エネルギー・素材市況の高騰、

海外における地域的混乱、大統領選挙後の米国経済の減速などによる日本経済への負の影響にも、目配りが欠かせないものと思われれます。

このような状況下、当社は、中期経営計画“Win21プラス”に基づき高収益企業へ転換するため、本年を、市場戦略とイノベーションにより高付加価値化および事業拡大を図る年と位置付け、方策を展開してまいります。

高付加価値化を図るため、より利益率の高い市場・製品の重点的な拡販やコストダウンをした新製品の構成比率を高めてまいります。

あわせて、グループ内の生産専門会社の一層の生産性向上や、海外生産拡大、調達コストの削減等のコスト削減策をさらに強化し、今年度に取り組んでまいりましたコスト構造改革を恒久的なものにすることで収益力を持続的に高め、一層の利益改善に努めてまいります。

事業拡大につきましては、営業戦略と開発戦略の連携を一層強化し、今後も安定的な成長が見込まれる自動車・液晶関連市場、急成長している半導体関連市場や中国市場に戦略的新製品をタイムリーに投入することにより事業の拡大を進めてまいります。

さらに、中期的な視野に立った施策として、将来の競争力や成長性を確保するため、中核技術の開発や新世代技術の育成を加速するとともに、品質および技術を核としたブランドを強化することで、高収益体質の実現を加速いたします。

株主のみならずにおかれましては、今後ともなお一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年6月

取締役社長 利島康司



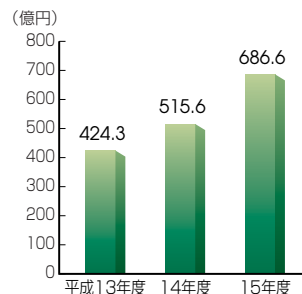
## 主要製品

- ACサーボモータ・制御装置
- 汎用インバータ
- 工作機械用AC主軸モータ・制御装置
- リニアモータ・制御装置
- DCサーボモータ・制御装置
- 高速モータ
- 小形精密モータ
- 複合モータ
- 省エネモータ・インバータ
- 高周波インバータ
- プログラマブルコントローラ
- マシンコントローラ
- NCシステム
- ビジョンシステム
- その他

当部門においては、ACサーボモータは、液晶製造装置、金属加工機向けが引き続き好調に推移したほか、期後半からは、半導体製造装置関連市場向けも回復してまいりました。インバータも、引き続き設備投資が旺盛な中国向け輸出の拡大などにより、好調に推移いたしました。

この結果、部門全体では、受注高は前期比35.6%増の697億41百万円、売上高は前期比33.2%増の686億60百万円となりました。

## 売上高の推移（単独）



## 新商品情報



### マシンコントローラ MP2200

業界最高レベルの高速モーション制御周期(0.5ms)と最大256軸の完全同期制御を実現した、当社マシンコントローラの最上位機種です。今まで以上に機械の高速・高精度化を図るため、新たな市場への拡販も強化してまいります。

(注) 1ms=1/1000秒

### スーパー省エネ可変速ドライブ Varispeed F7S

流体機械の省エネニーズにお応えするために、世界トップレベルの省エネ運転を実現したインバータドライブです。省エネ法によるエネルギー管理の必要なビル空調、工場・商業施設専用に性能・機能を追求しました。今後、積極的な提案活動によって拡販を図ってまいります。



### 小形・高精度リニアスライダ Σ-Trac-μ (マイクロ) シリーズ

デジタルカメラ、DVDレコーダなど、ますます小形化が進む各種デジタル機器の生産設備を対象として商品化した、高精度・薄形リニアスライダです。回転形モータの精度2~5μmと比較して、リニアスライダでは0.5μm以下の繰り返し位置決め精度を実現できます。従来の用途に加えて、検査装置、医療機器分野への応用が期待されています。

(注) 1μm=1/1000mm

# ロボティクス オートメーション部門

## 主要製品

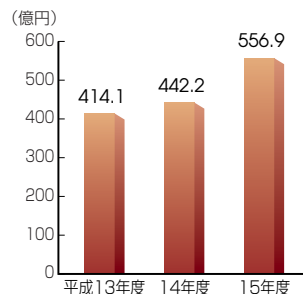
アーク溶接ロボット  
 スポット溶接ロボット  
 塗装ロボット  
 ハンドリングロボット  
 半導体・液晶製造装置用クリーン・真空ロボット  
 特殊アクチュエータ  
 クリーン・真空内搬送システム  
 ロボット応用FAシステム  
 医療・福祉サービスロボット  
 その他

当部門においては、自動車関連業界向けは、アーク溶接・スポット溶接用途において、ケーブル内蔵形ロボットがお客様から高い評価を受けたこともあり、特にスポット溶接用途が増加したほか、塗装用途も大幅に伸長し、シェアを拡大いたしました。また、液晶ガラス搬送用ロボットも、ガラス基板の大形化に対応した新機種のタイムリーな投入と、韓国、台湾市場の急伸などにより、好調に推移しました。昨年7月からは、溶接やハンドリングなどお客様の使用用途に応じた最適な新形ロボットを順次市場投入し、より一層の拡販を進めました。

半導体製造装置向けクリーン・真空ロボットは、上期には低調に推移しましたが、下期に入り受注が急回復してきました。

この結果、部門全体では、受注高は前期比38.9%増の671億51百万円、売上高は前期比25.9%増の556億91百万円となりました。

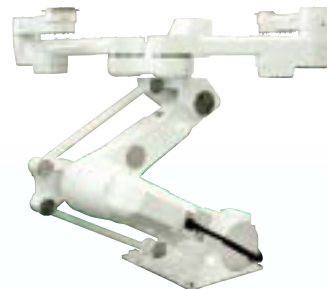
## 売上高の推移（単独）



## 新商品情報

### 第6、7世代対応液晶ガラス基板搬送ロボット MOTOMAN-CSL2200D、2400D

液晶ディスプレイ市場の画面サイズ大形化の要求に伴い、製造ラインにおけるマザーガラス基板サイズが年々大きくなっています。当社は第6世代ガラスサイズ（1500×1900mmクラス）、第7世代ガラスサイズ（1800×2400mmクラス）の搬送用クリーンロボットを市場投入し、受注拡大を図ってまいります。

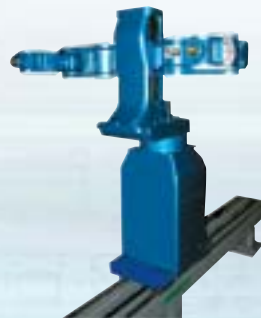


### ガラス基板搬送用双腕真空ロボット XU-RV1060D6

単腕真空ロボットシリーズに追加して、双腕真空ロボットXU-RV1060D6をラインアップいたしました。真空環境の製造システムにおいて、ガラス基板を双腕で高速搬送できるため、生産性向上に役立つ商品としてご好評をいただいています。

### 双腕小形ハンドリングロボット MOTOMAN-UPJ3D

小物部品の組立てや加工部品の搬送を行うMOTOMAN-UPJ3Dを商品化しました。双腕構成のため、人間の作業に近い動作を行うことができ、人手からロボット作業への置き換えが可能です。新しい形で、新たな市場開拓を図ってまいります。





# 事業概況

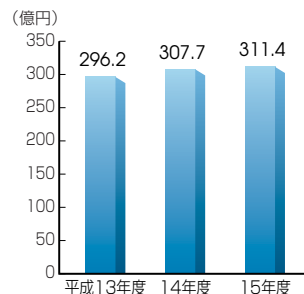


## 主要製品

- 鉄鋼プラント用電機システム
- 上下水道用電気計装システム
- 道路設備電源システム
- 環境プラント用電機システム
- エレベータ制御システム
- パワーメカトロシステム
- 港湾荷役用クレーン制御システム
- 紙・フィルム・液晶等可変速ドライブシステム
- システム情報制御機器
- 中容量高圧インバータ
- 高圧開閉装置
- コントロールセンタ
- システム用制御盤
- 電力用配電機器
- 永久磁石内蔵形回転機
- 中大形誘導電動機
- 中形発電機および発電装置
- その他産業用回転機
- その他

当部門においては、上下水道用電気計装システムは競争激化の影響を受けましたが、鉄鋼関連向けの設備更新需要の積極的な取り込みにより補い、部門全体では、受注高は前期比15.4%増の340億4百万円となり、売上高は前期比1.2%増の311億49百万円となりました。

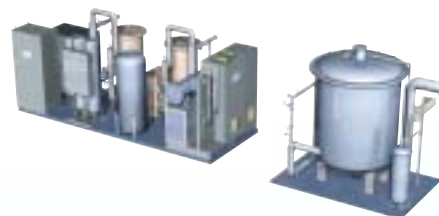
## 売上高の推移（単独）



## 新商品情報

### オンサイト・オゾン水処理装置

政府や地方自治体などで、下水処理水の再利用（親水公園やトイレ・洗車などの雑用水への活用）を推進しています。オゾン処理は有効な手段ですが、大がかりな工事や広い設置場所が必要などの課題がありました。当社はこれらの問題を払拭する画期的な方法により、コンパクトで経済的なオンサイト・オゾン水処理装置を開発しました。下水処理水の有効活用や放流水の一層の水質改善のために、各地方自治体へ提案活動を行ってまいります。



イメージ図

### 主な効果

消毒や脱色、脱臭などの幅広い用途に優れた効果を発揮します。

- 一般細菌や大腸菌の除去
- CODの低減
- 色度の低減
- 臭気の除去

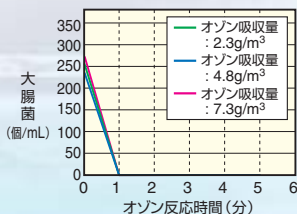
処理前



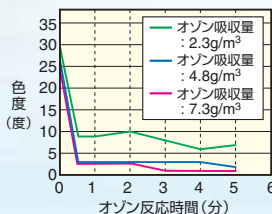
処理後



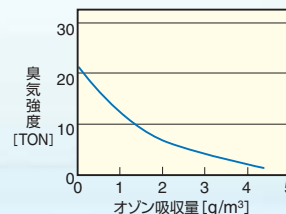
### 大腸菌の除去性能



### 色度の除去性能

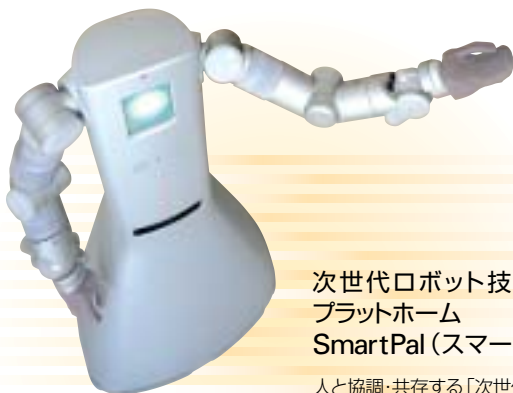


### 臭気の除去性能



## 技術開発

お客様からの多様な要求にスピーディーにお応えし、また次世代に向けた新技術・新製品を開発するために、革新的な技術開発を積極的に推進しています。



### 次世代ロボット技術検証 プラットフォーム SmartPal (スマートパル)

人と協調・共存する「次世代ロボット」の商品化を目指し、技術検証用プラットフォームとしてSmartPalを開発しました。このロボットをベースとして人と協調・共存する技術開発を進め、産業分野に加えて家庭やオフィスなどで活躍できる次世代ロボットの開発を重ねています。

SmartPalは、北九州市の西日本総合展示場で開催された「国際ロボット見本市2004」に出展されました。SmartPalは机上に置かれた物を見分け、手先に加わった力を判断して柔らかく物をつかみ、頼まれた物を人へ手渡す実演を行い、大変好評でした。熱心に質問される方が多数おられ、ロボットへの関心の高さが感じられました。



### 自由曲面金型のスーパー磨き 自動仕上げシステムの開発\*

近年需要が急増しているペットボトル製造用金型のような、3次元曲面を有する金型磨きは、繊細な圧力調整が必要であり、未だ熟練者の手作業に頼っています。この仕上げ磨きを自動化するために、コンピュータに弾性研磨工具を装着し、パソコン制御の学習型モーション・力制御系ソフトウェアを実装した自動仕上げシステムを開発しました。このシステムによって、コンピュータは熟練者を模倣した研磨作業を行うことができますようになります。



\*：経済産業省地域新生コンソーシアム研究開発事業の一環として実施した開発です。

# 展示会レポート

当社が出展した主要な展示会についてご紹介いたします。

## 下水道展'03東京

日 時：2003年7月22日～25日  
場 所：東京ビッグサイト  
出展社数：399社／団体  
来場者数：10,975名

### ■ ■ ■ 当社展示テーマ ■ ■ ■

水環境の高度化に貢献する安川電機



下水道事業の普及・推進を目指し、関係する官庁・団体・民間企業が協賛して開催される下水道業界最大の展示会です。当社は、販売を開始した下水水質シミュレータ「AquaNavi」、経済的に構築できるパッケージ製品「オンサイト・オゾン水処理装置」を展示し、ご来場の皆様の注目を集めました。

## システムコントロールフェア 2003

日 時：2003年11月11日～14日  
場 所：東京ビッグサイト  
出展社数：146社  
来場者数：87,202名

### ■ ■ ■ 当社展示テーマ ■ ■ ■

i<sup>3</sup>-Mechatronics (メカトロニクス)  
～IT時代を支えるモーション・テクノロジー～



システムコントロールフェアは、産業界最大の展示会です。当社は特に、新発売の「マシンコントローラMP2200」による12軸同期制御の実演が大好評をいただき、ACサーボモータ、リニアスライダをはじめとする卓越した技術力と、当社の推進するモーションネットワークMECHATROLINKの優位性をご紹介することができました。



## 2003 国際ロボット展

日 時：2003年11月19日～22日  
場 所：東京ビッグサイト  
出展社数：117社27団体  
来場者数：98,449名

### ■ ■ ■ 当社展示テーマ ■ ■ ■

新たな発見がきつとある・・・



ロボット分野では世界最大規模の展示会です。当社は、2003年7月に発表した新形ロボットをメインに、様々な分野に対応したロボットを展示いたしました。「双腕ロボットMOTOMAN-UPJ3D」は、産業用ロボットとしては珍しい形状で、ご来場の皆様の注目を集めました。



## セミコン・ジャパン 2003

日 時：2003年11月19日～22日  
場 所：幕張メッセ  
出展社数：世界約25カ国、  
約1,600社/団体  
来場者数：105,484名

### ■ ■ ■ 当社展示テーマ ■ ■ ■

Creative Impact  
～半導体装置へのトータルソリューション～



半導体業界では世界最大規模の展示会です。当社は、ウエハ搬送用新形ロボットとシステム、ガラス基板搬送用新形ロボットなどを実演展示いたしました。例年を20%上回るご来場者があり、ご好評をいただきました。





## 産業用ロボット“MOTOMAN” 累積出荷台数10万台を達成

1977年にMOTOMAN第1号を出荷し、1988年に累積出荷台数1万台、1998年に5万台を達成しました。その後わずか5年というハイスピードで10万台を達成し、産業用多関節ロボットで世界一の累積出荷台数を更新しました。記念すべき10万台目の「新形スポット溶接専用ロボットMOTOMAN-ES165N」は、欧州の某大手自動車メーカーへ出荷されました。

### シェア状況

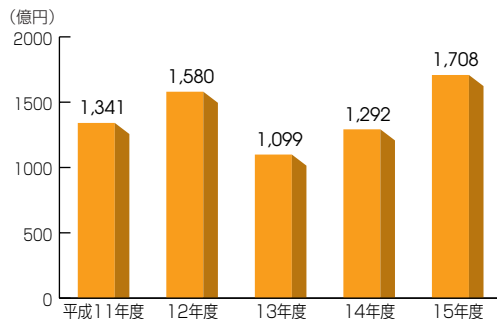
MOTOMANシリーズは、2002年の出荷台数で世界トップシェア（約18%）を達成しました。特にアーク溶接用ロボットの出荷台数は、常に世界トップシェア（2002年：約43%）を維持しているほか、液晶などの基板搬送用クリーンロボットでも世界トップシェア（2003年度上期：約60%）を獲得しました。

### ● 累積出荷台数の推移とMOTOMAN（代表機種）の変遷



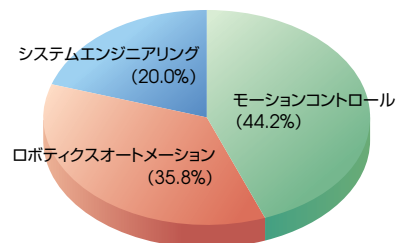
# 業績の推移

## ● 受注高(単独)

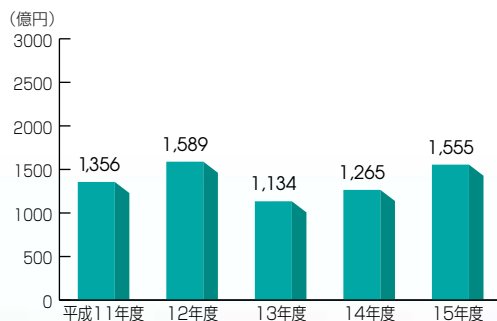


## ● 部門別売上構成比

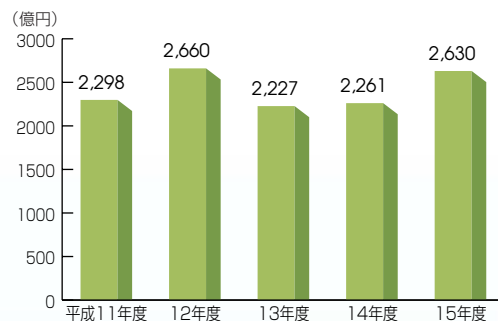
(平成15年度単独売上高1,555億円における割合)



## ● 売上高(単独)



## ● 売上高(連結)



## ● 経常利益(単独)



## ● 経常利益(連結)



# 財務諸表 (単独) (平成16年3月20日現在)

## ● 単独貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	<b>107,264</b>	<b>流動負債</b>	<b>109,506</b>
現金及び預金	9,217	支払手形	4,404
受取手形	5,159	買掛金	39,767
売掛金	48,344	短期借入金	30,902
有価証券	115	1年以内に償還期限の到来する社債	15,000
製品	14,744	未払費用	8,904
半製品	791	未払法人税等	906
原材料・貯蔵品	5,305	その他流動負債	9,622
仕掛品	6,882	<b>固定負債</b>	<b>41,920</b>
短期貸付金	6,057	社債	10,000
繰延税金資産	1,858	長期借入金	10,443
その他流動資産	8,819	退職給付引当金	21,477
貸倒引当金	▲31		
<b>固定資産</b>	<b>76,324</b>	<b>負債合計</b>	<b>151,427</b>
有形固定資産	25,926	<b>資本の部</b>	
建物・構築物	10,685	<b>資本金</b>	<b>15,540</b>
機械装置	4,358	<b>資本剰余金</b>	<b>13,999</b>
土地	8,656	資本準備金	13,999
建設仮勘定	407	<b>利益剰余金</b>	<b>1,723</b>
その他有形固定資産	1,819	当期末処分利益	1,723
無形固定資産	7,761	<b>株式等評価差額金</b>	<b>965</b>
投資その他の資産	42,636	<b>自己株式</b>	<b>▲68</b>
投資有価証券・出資金	12,304		
子会社株式・出資金	20,136		
長期貸付金	2,742		
繰延税金資産	8,120		
その他投資	2,158		
貸倒引当金	▲2,826	<b>資本合計</b>	<b>32,161</b>
<b>資産合計</b>	<b>183,588</b>	<b>負債及び資本合計</b>	<b>183,588</b>

(注)百万円未満は切り捨てて表示しています。

## ● 単独損益計算書

(単位：百万円)

自平成15年3月21日 至平成16年3月20日	
<b>経常損益の部</b>	
<b>営業損益の部</b>	
売上高	155,501
売上原価	123,982
販売費及び一般管理費	29,431
<b>営業利益</b>	<b>2,088</b>
<b>営業外損益の部</b>	
<b>営業外収益</b>	<b>4,141</b>
受取利息・配当金	2,421
雑収益	1,719
<b>営業外費用</b>	<b>1,727</b>
支払利息	930
雑損失	797
<b>経常利益</b>	<b>4,501</b>
<b>特別損益の部</b>	
<b>特別利益</b>	<b>5,490</b>
<b>特別損失</b>	<b>5,437</b>
<b>税引前当期純利益</b>	<b>4,555</b>
法人税・住民税及び事業税	900
法人税等調整額	1,931
<b>当期純利益</b>	<b>1,723</b>
前期繰越利益	—
<b>当期末処分利益</b>	<b>1,723</b>

(注)百万円未満は切り捨てて表示しています。

## ● 利益処分

(単位：百万円)

平成16年3月期	
<b>当期末処分利益</b>	<b>1,723</b>
<b>計</b>	<b>1,723</b>
これをつぎのとおり処分します。	
株主配当金 (1株につき3円)	695
役員賞与金 (監査役賞与金350万円を含む)	35
<b>計</b>	<b>730</b>
<b>次期繰越利益</b>	<b>993</b>

(注)百万円未満は切り捨てて表示しています。

# 財務諸表 (連結) (平成16年3月20日現在)

## ● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	169,611	<b>流動負債</b>	152,664
現金及び預金	16,194	支払手形及び買掛金	63,382
受取手形及び売掛金	84,186	短期借入金	40,372
有価証券	1,142	1年以内償還予定の転換社債	15,000
たな卸資産	54,345	未払法人税等	2,791
繰延税金資産	5,337	その他流動負債	31,118
その他流動資産	9,235	<b>固定負債</b>	56,188
貸倒引当金	▲ 830	<b>負債合計</b>	208,852
<b>固定資産</b>	80,217	<b>少数株主持分</b>	
有形固定資産	36,844	少数株主持分	4,261
無形固定資産	13,997	<b>資本の部</b>	
投資その他の資産	29,671	資本金	15,540
貸倒引当金	▲ 295	資本剰余金	13,999
		利益剰余金	6,171
		その他有価証券評価差額金	1,040
		為替換算調整勘定	154
		自己株式	▲ 191
		<b>資本合計</b>	36,715
<b>資産合計</b>	249,829	負債、少数株主持分及び資本合計	249,829

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しています。

## ● 連結損益計算書

(単位：百万円)

自平成15年3月21日		至平成16年3月20日	
売上	高		263,045
営業費用			250,637
営業利益			12,407
営業外収益			2,333
営業外費用			2,730
経常利益			12,010
特別利益			5,481
特別損失			6,402
税金等調整前当期純利益			11,089
法人税・住民税及び事業税			4,206
法人税等調整額			796
少数株主利益			265
当期純利益			5,819

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しています。

## ● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

自平成15年3月21日		至平成16年3月20日	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前当期純利益		11,089	
減価償却費		6,047	
投資有価証券売却益		▲ 1,883	
売上債権の増減額		▲ 13,226	
たな卸資産の増減額		▲ 202	
仕入債務の増減額		14,253	
法人税等の支払額		▲ 3,978	
その他		6,405	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>18,504</b>	
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産等の取得による支出		▲ 6,178	
有形固定資産等の売却による収入		1,359	
投資有価証券等の取得による支出		▲ 1,404	
投資有価証券等の売却による収入		3,254	
その他		4,087	
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>1,118</b>	
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増減額		▲ 14,071	
長期借入による収入		7,846	
長期借入金の返済による支出		▲ 12,210	
その他		▲ 441	
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>▲ 18,877</b>	
現金及び現金同等物に係る換算差額		▲ 31	
現金及び現金同等物の増加額		714	
現金及び現金同等物の期首残高		16,267	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加		148	
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少		▲ 32	
現金及び現金同等物の期末残高		17,098	

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しています。



# 環境保護の取り組み

安川電機は、公害防止活動を中心に環境問題に取り組んできました。1993年に「環境保護基本理念」を制定し、環境担当役員の設置などの環境組織や内部環境監査制度を構築し、環境保全に取り組む体制を整備しました。2001年4月には国内生産5事業所において、環境マネジメントシステムの認証取得を完了しました。このシステムを維持改善するために毎年、外部機関による審査を受けています。これら社の取り組みをホームページ(URL: <http://www.yaskawa.co.jp>)で公開しています。



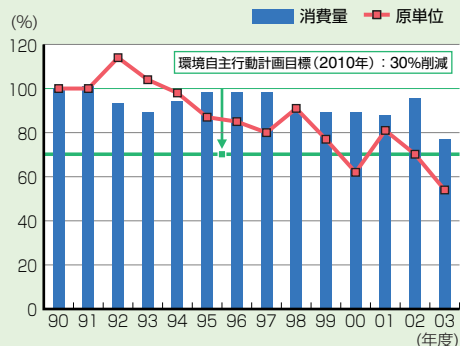
## 省エネルギー・地球温暖化防止 (グラフ①参照)

代表的な温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>の排出量について、生産高原単位を2010年までに1990年度比30%削減という自主行動基準を設定して、日々省エネルギー活動に努めています。2003年度は鋳物工場の生産設備の効率化等により、前年度に比べ、エネルギー消費量・生産高原単位ともに減少しています。

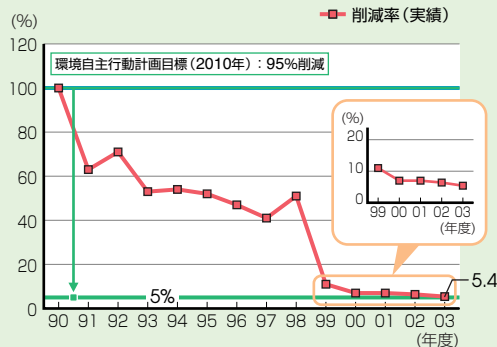
## 産業廃棄物削減 (グラフ②③参照)

工場から発生する産業廃棄物の最終処分量については、既に1999年度に業界目標(2010年までに1990年度比60%削減)を達成しており、さらには上の95%削減の目標達成に向け、循環型経済社会の実現に努めています。分別の徹底や再資源化の向上などにより、2003年度は前年度に比べ、産業廃棄物排出量も減少しています。

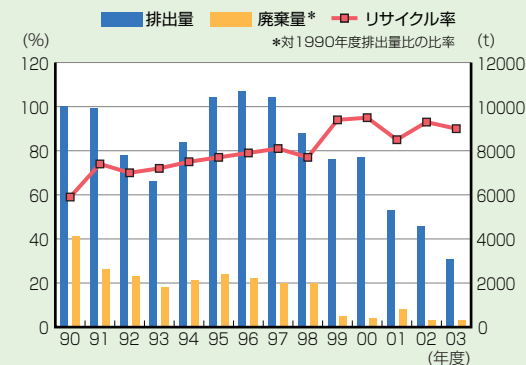
### ① エネルギー消費量の推移



### ② 産業廃棄物最終処分量原単位の推移



### ③ 産業廃棄物排出量・廃棄量およびリサイクル率の推移



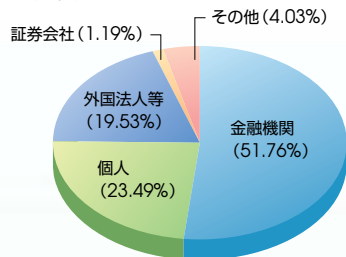
## 株式の状況 (平成16年3月20日現在)

会社が発行する株式の総数 …… 560,000 千株  
 発行済株式総数 …… 232,059 千株  
 株主数 …… 23,279 名

### 主要大株主

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	19,008 千株	8.19%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,937 千株	4.71%
ガバメントオブシンガポールインベストメントコーポレーションリミテッド	8,158 千株	3.51%
みずほ信託退職給付信託みずほコーポレート銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	8,071 千株	3.47%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.43%
明治安田生命保険相互会社	7,967 千株	3.43%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.74%
株式会社UFJ銀行	5,176 千株	2.23%
ザチースマンハッタンバンクエヌエイロブソエスエルオムコバスアカウント	4,824 千株	2.07%
日本生命保険相互会社	4,388 千株	1.89%

### 所有者別株式分布状況



### 当社株価の推移



(注) 東京証券取引所における月別の高値、安値を表示しています。

## 役員 (平成16年6月17日現在)

取締役会長	中山 眞
取締役社長	利島 康司
専務取締役	濱田 淳一
常務取締役	松本 健一
常務取締役	武井 紘一
取締役	佐藤 光昭
取締役	鬼頭 正雄
取締役	濱田 兼幸
取締役	沢 俊裕
取締役	岩田 定廣
取締役	益 渕 肇
取締役	宮原 範男
取締役	堀田 忠和
取締役	清水 喜文
取締役	宇佐見 昇
常任監査役(常勤)	中村 功
監査役(常勤)	山崎 宗重
監査役	谷 正明
監査役	多喜田 一郎

# 会社の概要 (平成16年3月20日現在)

商号 株式会社安川電機

英文社名 YASKAWA Electric Corporation

設立 大正4年7月16日

従業員 2,919名

事業所 本社 〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号  
電話(093)645-8801

東京支社 〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号  
電話(03)5402-4502

名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目25番9号  
電話(052)581-2761

大阪支店 〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号  
電話(06)6346-4500

中国支店 〒732-0806 広島市南区西荒神町1番8号  
電話(082)568-8191

九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神四丁目1番1号  
電話(092)714-5331

工場等 八幡事業所・行橋事業所・入間事業所・小倉事業所

(注) 中国支店は平成16年3月21日から  
中国営業所に名称を変更しております。



## 国内関連会社

### JAPAN

- 株式会社ワイ・イー・データ  
電算機周辺・端末機器の製造および販売
- 安川情報システム株式会社  
計算処理受託・ソフトウェア開発
- 安川コントロール株式会社  
電気機械器具およびその部分品の製造および販売
- 安川エンジニアリング株式会社  
電気機械設備の保全・整備および技術指導
- 株式会社安川ロジステック  
製品の保管・輸送等の物流サービス
- 株式会社安川メカトレック  
電気機械器具の販売



## 海外関連会社

### EUROPE

- YASKAWA ELECTRIC EUROPE GmbH (ドイツ)  
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- MOTOMAN ROBOTEC GmbH (ドイツ)  
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- MOTOMAN ROBOTICS EUROPE AB (スウェーデン)  
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC UK LTD. (イギリス)  
インバータの製造・販売・サービス
- YASKAWA ESHED TECHNOLOGY LTD. (イスラエル)  
モーションコントロール製品の開発および製造

### ASIA

- YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE LTD. (シンガポール)  
電気機器の輸入・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION (韓国)  
電気機器の輸入・販売・サービス
- SHANGHAI YASKAWA-TONGJI M & E CO.,LTD (中国)  
電気機器の製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC(SHANGHAI) CO., LTD.(中国)  
電気機器の輸入・販売・サービス
- Y-E DRIVE COMPANY LIMITED SHANGHAI (中国)  
電気機器の製造・販売
- SHOUANG MOTOMAN ROBOT CO.,LTD.(中国)  
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION (台湾)  
電気機器の輸入・販売・サービス

### North America & South America

- YASKAWA ELECTRIC AMERICA, INC. (アメリカ)  
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- MOTOMAN, INC. (アメリカ)  
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- SYNETICS SOLUTIONS, INC. (アメリカ)  
半導体製造機器の開発・設計・製造・販売
- YASKAWA ELÉTRICO DO BRASIL COMÉRCIO LTDA. (ブラジル)  
電気機器の輸入・製造・販売・サービス

# 株 主 メ モ

決 算 期	3月20日	名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	6月	同 事 務 取 扱 所	東京都江東区東砂七丁目10番11号 〒137-8081
基 準 日	3月20日 そのほかあらかじめ 公告して定める日	(郵便物送付先) (電話照会先)	UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)5683-5111
公告掲載新聞	日本経済新聞	同 取 次 所	UFJ信託銀行株式会社 各支店 野村證券株式会社 本店・各支店
上場証券取引所	東京・福岡*		

\*：大阪証券取引所第1部に上場しておりました当社普通株式を平成15年10月9日付で、名古屋証券取引所第1部に上場しておりました当社普通株式を平成15年10月13日付でそれぞれ上場廃止いたしました。

## ホームページのご案内

下記の当社ホームページにて、決算情報やニュースリリースを随時ご提供いたしております。  
<http://www.yaskawa.co.jp/>

株式の事務手続き(届出住所・印鑑・姓名等の変更、株券失効の申請、配当金振込指定、単元未満株式買取請求、単元未満株式買増請求、名義書換請求等)書類のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

フリーダイヤル 0120-24-4479 (本店証券代行部)  
0120-68-4479 (大阪支店証券代行部)

インターネット <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

なお、証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



株式会社 安川電機



●古紙配合率100%再生紙を使用しています。  
●環境にやさしい植物性大豆油を使用しています。